



なかつまっ子

中妻小学校ポータルサイト : http://www.miharu.gr.fks.ed.jp/?page_id=49

平成29年度 学校だより
H29. 4.14 第2号
文責 校長 穂積 浩

平成29年度 三春町立中妻小学校 学校経営方針

今年度、中妻小学校は以下のような学校をめざします。

教育目標

豊かな心を持ち、よく考え進んで表現できる、心身ともにたくましい、実践力ある児童の育成

こんな学校にしたい ～学校が好き、友達や先生が好き、自分の地域が好き～

- すべての子どもが毎朝笑顔で登校し、友達や先生と楽しく過ごし、「分からないことが分かった、できないことができた、今日も中妻小に来てよかった、明日もまた来たい」と満足して帰る、心の通った学校の実現。
- 保護者や地域・関係諸機関との良好な関係の構築。



そのための具体的な取組み

1 「生きる力」を育む、調和のとれた教育課程の編成と実施

将来の予測が困難な複雑で変化の激しいこれからの社会を、一人一人が未来の創り手として力強く生き抜くことができるよう、知情意体バランスのとれた「なかつまっ子」の育成に全力をあげていきます。

なかのよい子【情】・・・豊かな心

- 「あいさつ」の定着（「あいさつの中妻小」を目指して）
温かな人間関係作りのために、あいさつを定着させます。
- 豊かな心の育成
「相手の立場に立って考える思いやりの心」や「相手のよさ・自分との違いを認め合う心」を育てていきます。今年もいじめ「0」、不登校児童「0」を継続します。

かんがえる子【知】・・・確かな学力

- 学力の向上（基礎学力の定着、深い学び）
学年における基礎基本の定着を図ります。さらに、「主体的・対話的で深い学び」を目指します。基礎基本を活用し主体的に学ぶ中で、お互いに考えを伝え合い・認め合いながら課題を解決していくような学習活動を工夫していきます。
- 望ましい学習習慣の確立
家庭と連携して、学力向上のための学習習慣を身に付けさせます。



つよい子【体】・・・健康な身体

- 「1日60分運動」の励行
体育の授業を中心に教育活動全体を通して運動する機会を設けます。

○ 望ましい生活習慣等の確立

正しい生活習慣や食生活習慣づくりについて、家庭との連携を図ります。

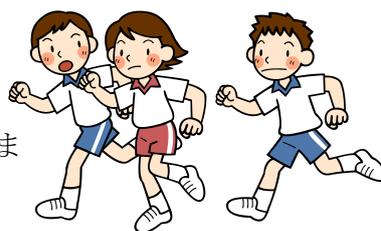
まじめな子【意】粘り強い心

○ 非認知能力の育成

学力や体力の向上に大きく影響すると言われている、「忍耐強さ・まじめさ」などの「非認知能力」を育みます。

○ 充実感・達成感を味わわせる活動の充実

児童への励ましと称賛を大切に、充実感や達成感を味わわせていきます。



2 教職員の協働体制と活力ある組織づくり（チームなかつま）

（1）「チームなかつま」の意識

何事にも全教職員で協力して取り組みます。54名の児童は、全員私たちの子どもです。常に子どもたちを中心に考え、教職員同士声をかけ合い共通理解を図り、優しくそして時には厳しく子どもたちの成長を見守っていきます。

（2）「学び続ける、挑戦し続ける」気持ち

わたしたち教職員も、お互いに切磋琢磨し、児童も、教職員も成長が実感できる学校を目指します。

（3）教育公務員としての自覚

学校教育は、児童・保護者・地域の信頼関係の上に成り立っていることから、教育公務員としての責務を自覚し、「職務には厳しく、職場は明るく・楽しく」を心がけます。

3 特色ある教育活動の展開

（1）「カリキュラムマネジメント力」の育成

教職員一人一人が「カリキュラムマネジメント力」を身に付け、活動だけに終わらず、評価し更に次に生かしていくというサイクルを大切にしていきます。

（2）「ひと、こと、もの」を生かした体験活動の充実

これまでも本校では、「ひと・こと・もの」を生かした体験活動を取り入れた教育課程を展開してきましたが、保護者・域の理解と協力をいただきながら一層の充実を図っていきます。



4 安全・安心で開かれた学校づくり

（1）安全・安心な学校づくり

いじめや不登校のない子どもたちにとって安心・安全な学校、地域や保護者の方々にとって安心な学校を目指します。

（2）開かれた学校づくり

学年便り・学校便り・ポータルサイトを使って、教育活動の様子や児童のがんばる姿等を積極的に発信していきます。